

ガス式ヒートポンプエアコン(GHP)の設定温度緩和

□現状

設定温度は年間通じて 25℃であり、少し過剰な設定。

該当のエアコンの都市ガス使用量は、夏季(高冷房負荷時期 6月～9月)が 6,372m³、冬季(高暖房負荷時期 12月～2月)が 5,588m³である。

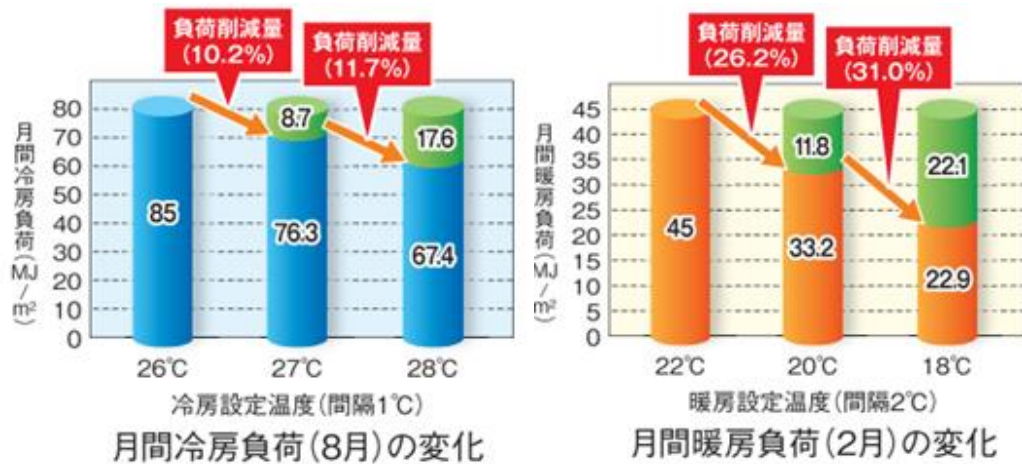
中間期(10～12月と3月～5月)のエアコンの消費はなし。

□改善提案

空調の設定温度を、夏季は 26℃(現状+1℃)に、冬季は 24℃(現状-1℃)に調整。

(政府推奨の設定温度は夏季 28℃、冬季 19℃)

★設定温度を 1℃緩和すると、下図のように約 10%の消費電力の削減に繋がる。



出典：省エネルギーセンタ資料

□効果試算

削減項目	年間削減量	試算式
都市ガス量	1,196m ³	(6,372m ³ +5,588 m ³)/年×0.1(省エネ率)
二酸化炭素量	2,667kgCO ₂	1,196m ³ /年×2.23 tCO ₂ /千 m ³
都市ガス料金	100,464 円	1,196 m ³ /年×84 円/ m ³ (都市ガス単価)

□投資金額(回収年数)

なし

□留意点

設定温度と作業場の室内温度は異なるので、対策を行う際は室内温度を確認しながら適切な温度設定を行う必要がある。対策が有効な場合は、更に設定温度を下げることを薦める。